

4月号では、シャコピー高校短期留学の様子を載せました。今回は、5月6日に帰国したアーリントン短期留学プログラムの様子をレポートします。

アーリントン短期留学プログラム

平成29年4月26日（水）～5月6日（土）。2年生10名と長岡京市立の4つの中学校の生徒16名が米国マサチューセッツ州アーリントンを短期訪問しました。

アーリントンは、米国内の最大・最古の都市の一つである、マサチューセッツ州の州都ボストンから車で30分くらいのところにあります。アーリントンでは、ダリン小学校（Dallin Elementary School）、オトソン中学（Ottoson Middle School）、アーリントン高校（Arlington High School）の3回の学校訪問とタウンミーティング（議会）への出席、ボストン市内観光（州議事堂、レッドソックスホームグラウンド、クジラ観測船など）、また隣町レキシントンでの独立戦争の学習、市内散策や農場見学などをしました。毎日、盛りだくさんの行程で、とても忙しく過ごしました。

訪問した学校では歓迎会が開かれ、生徒たちや先生たちから温かい歓迎を受けました。どこの学校でも、日本から練習していった歌（英語・日本語）、そして鳴子でよさこいソーランダンスを披露しました。とても盛り上がり、歓迎会が終わった後の話題作りにもなりました。特に、アーリントン高校では、Auditorium（講堂）に大勢の生徒が集まり、リーダー清水達也くんのスピーチとダンスや歌の披露、すべてに大歓声で応えてくれました。

アーリントンプログラムは、長岡京市とアーリントンの友好姉妹都市関係の上になり立っています。また、アーリントン高校と本校は姉妹校関係にあります。ホストファミリーも、現地でお世話して下さるコーディネーターもみんなボランティアであり、言葉や文化の壁を乗り越え、人の優しさや温かさを感じるプログラムです。

私たちは、外国というと、真っ先に「違い」に目を向けがちですが、実は「違い」よりも「同じ」ことや「似ている」ことの方が多いのだということに気づかされます。

7月にはアーリントンから来日され、13日には西乙訓高校も訪問されます。これまで以上に、交流を深められるよう、がんばりましょう！

アーリントンってどんなところ？



アーリントンは、アメリカの東海岸、マサチューセッツ州にある町で、長岡京市の友好姉妹都市であり、その関係は30年以上にも及びます。アーリントン、また周辺のボストンやレキシントン、コンコードは、アメリカ独立戦争の最初の戦いのあった土地で、米史上、最も重要な都市の一つです。

近隣には、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学など、世界的に有名な大学があり、アーリントンに住んでいる人たちも、それらの大学の先生だったり、卒業生だったり、教育にもかなり力を入れている町なのです。

